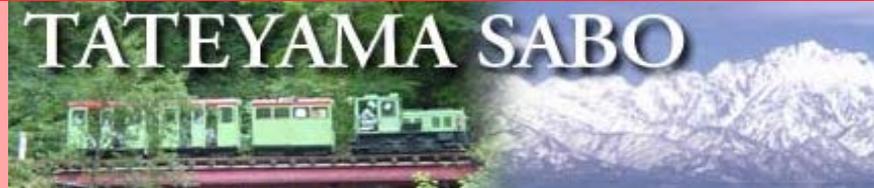


世界遺産登録推進シンポジウム2018 『立山砂防シンポジウム』が開催されました！



平成30年9月30日（日）、富山国際会議場メインホールにて「-日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に-」というテーマで世界遺産登録推進シンポジウム2018が開催されました。このシンポジウムでは、これまでの調査研究の集大成として、また、富山県で10月1日から開催されたインタープリメント2018（国際防災学会）に先立ち開催するシンポジウムとして、世界遺産の最前線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッションをとおして、立山砂防の歴史的・文化的な価値や魅力、さらに世界遺産登録へ向けた今後の戦略について議論がなされました。

世界遺産登録推進シンポジウム2018 『立山砂防シンポジウム』

-日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に-

- 日時：平成30年9月30日（日）13：30～17：00
- 会場：富山国際会議場メインホール

～プログラム内容～

- ◆講演1：『わが国 防災遺産の系譜と立山砂防』
北河 大次郎 氏（東京文化財研究所近代文化遺産研究室長）
- ◆講演2：『自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防』
石井 隆一 氏（富山県知事）
- ◆映像上映：アニメ『立山砂防・土砂との闘い』（英語字幕付き）
- ◆パネルディスカッション

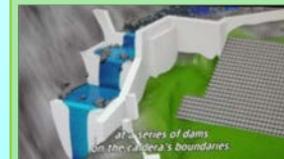
講演1 『わが国 防災遺産の系譜と立山砂防』



講演2 『自然と共生した世界に誇れる 防災遺産・立山砂防』



アニメ映像上映



安政年間の災害の状況から、現在の砂防事業の取り組みまで分かりやすくまとめたアニメ映像が上映されました。

来賓挨拶



栗原 淳一 氏
(国土交通省 水管理・国土保全局砂防部長)

パネルディスカッション

国内外の有識者を交えて、立山の砂防堰堤群が「国際的に見てどうか」「防災遺産としてどうか」「今後の登録に向けて」とのテーマで議論されました。



コーディネーター
西村 幸夫 氏
(日本エコモス 国内委員会委員長)



パネリスト
アンドレアス・ゲッツ 氏
(元スイス環境庁次官)



パネリスト
郭 旃 (グォ・チャン) 氏
(元エコモス副会長)



パネリスト
クルト・ローナー 氏
(インタープリメント会長)



パネリスト
松浦 晃一郎 氏
(第8代ユネスコ事務局長)



パネリスト
北河 大次郎 氏
(東京文化財研究所 近代文化遺産研究室長)



パネリスト
石井 隆一 氏
(富山県知事)